

旧商工会跡地の活用方法を検討
サイトみたいのしてみたイベント

10月28日、旧商工会跡地の活用を検討している「サイトみたいデザインプロジェクト」において、実証実験となるイベントが行われました。
会場では、ライブや〇×ゲームなどステージイベントや建設業協会青年部などによるアトラクション、人気飲食店や高千穂高校生徒などが出店。フィナーレでは、高千穂高校神楽保存会による神楽が舞われるなど、楽しい秋イベントとなりました。



日頃の訓練や取り組みの成果を展示
消防長査閲訓練を実施

10月20日、西臼杵広域行政事務組合消防本部(日高一昭消防長)で、消防長査閲訓練が行われました。
例年、第一〜三係それぞれが、火災や救助現場での活動を想定した訓練を展示していましたが、今回は、延焼防止等の消火活動、屋内進入、要救助者発見による救助活動として、消防長が指示。各係において想定される事象について訓練した成果を披露しました。



地域に根ざした取り組み
(有)アズーロより寄付

10月16日、有限会社アズーロ(高須義男代表取締役)から、町政発展に役立ててほしいと、町へ寄付がありました。
贈呈式では、高須代表取締役が「いろいろな活用法があると思うが、有効活用していただきたい」とあいさつ。町長は「国内外の観光客の誘致や訪れた方々が満足していただける観光地づくりなど、観光関連の事業に活用させていただきます」とお礼を述べました。



角力や出店にぎやかに
穂觸神社秋季大祭を斎行

10月9日、穂觸神社後藤彦(宮司)で、秋季大祭が行われました。
午前中に神事が執り行われ、午後からは、御神幸が高千穂神社までの往復を練り歩きました。今年は、4年ぶりに境内の相撲場で奉納角力大会が開催され、幼児から大人までが年代別に取り組みを行いました。中でも、幼児によるつなり角力では、土俵に上がる前から勝負あり!など、観客を和ませていました。



お菓子をくれなきゃいたずらするぞ
ハロウィンウォークin高千穂2023

10月29日、町国際交流事業実行委員会(吉村ウィクトリア会長)による、ハロウィンウォークが行われました。
オバケ、アニメやゲームなどのキャラクターに仮装した参加者は、グループごとに分かれ、中央公民館のくつつログをスタートし旧商工会跡地のゴールを目指しました。途中3カ所にあるチェックポイントでは「トリックオアトリート」と言って、お菓子やグッズをもらいました。



消防・警察・医療機関の連携強化
多数傷病者発生を想定した合同訓練

10月21日、西臼杵広域行政事務組合消防本部(日高一昭消防長)が、バス同士が正面衝突をし、24名の負傷者が発生した対応訓練を行いました。今回の訓練は、警察、病院など約160人が参加する大規模な合同訓練で、現場で指揮所を立ち上げ、救出やトリアージによる的確な処置や搬送などを実施。県立延岡病院のドクターカーや防災ヘリあおぞらへの応援要請など、各機関との連携を図りました。



地域社会に貢献する
(株)ケーブルメディアワイワイより寄付

10月16日、株式会社ケーブルメディアワイワイ(末次稔代表取締役社長/本社・延岡市)から、町政発展に役立ててほしいと、町へ寄付がありました。
贈呈式では、栢山慎二代表取締役専務から町長へ目録が手渡され、栢山専務は「地域の方に支えられている。少しでも地域に貢献できれば」とあいさつ。町長は「毎回の行事取材に感謝。情報発信事業に活用させていただきます」とお礼を述べました。



1年の健康に感謝
今年で6台目の車いすを寄贈

10月16日、白瀬美保子さん(上野)が、車いす1台を町に寄贈しました。
白瀬さんは「毎年1台を目標に、1年間、元気に働くことができた」と健康への感謝の思いから、今年で6台目となる車いす1台を町へ寄贈しました。
町長は「これまでの車いすは、庁舎や病院、ワクチン接種会場で活用。この1台も病院で有効に活用させていただきます」とお礼を述べました。

